

第18回 日能研

文学コンクール

奨励賞

【論説文】 わたしたちは地球人

学習院女子高等科・一年

高嶋 莉里花さん

作品に対する思い・感想

この度は素敵な賞をいただき、ありがとうございます。

包容力のある、そして漠然とした「地球人」という言葉は、私の頭の中でぼんやりと渦巻いていた社会への思いの断片たちを拾い集めてくれました。人間は、「違うこと」に対して矛盾した感情を抱くことがあります。それは争いにつながりません。私は、地球に住む80億分の一人として「違うこと」を尊重する一つ一つの小さな行動を大切にしたいと思います。

わたしたちは地球人

高嶋 莉里花

時々、ある歌の歌詞みたいに、みんな同じ空の下にいるのだな、と思うことがある。少し離れたところに住む祖父母は、今この空の下で散歩をしているかもしれない。私が好きなアイドルは、今この空の下で写真をとっているかもしれない。そして今この空の下で、私と同じ「地球人」が、それもまた同じ「地球人」に銃を向けて、爆弾を落とし、命を奪い合っている。特に最近毎日テレビで見えるようになった二つの国の間で起こっている争いは、多くの地球人の心を苦しめている。そして私は、その争いに心を痛めているけれど何もできない自分の無力さを、思い知らされている。

国連が、世界人口は2022年11月15日に80億人に到達すると予測した。16歳の私は、まだ80億という数字が何を表すのかははっきりしないが、80億分の一が私で、私個人を見るには大きすぎる分母だということはわかる。地球では、本当にたくさんの思想や考えを持つ人々がそれぞれの言語で意見を交わし、それぞれの文化や習慣、価値観をアイデンティティーとして持っている。自分と違うものを新鮮に思い、面白い、学びたいと思うから人々は旅行や留学をする。日本では1964年ごろに海外旅行が自由化され、パンデミック前は世界全体で見ても国外旅行者数が年々増えていた。一方で、自分と違うものを排除し一つのものを独占しようとする人がいるから差別が起こる。差別の基準は、性別、人種、障害の有無、旧社会的身分などの、それだけでその人自身を判断するには到底足りない要素ばかりだ。正当な差別というものはない。

私は日本語の、雨の表現が数多とあるような繊細なところが好きで、世界で最も難しいと言われている日本語の話者であることを誇りに思う。礼儀と秩序を重んじ、謙虚であることも美意識の価値観として根付いている日本の文化も、美しいと思う。私はそんな美しい日本

の文化を自分のアイデンティティーの一部と言えるように心がけている。また、私は海外の文化、特に洋楽や、韓国のエンターテインメントが好きで最近日本のものより外国のドラマや歌に触れる機会が多くなっている。英語の、強弱のある滑らかな発音が好きで、もっと流暢に話したいと思い、好きなアイドルの話していることを知りたいと思って、韓国語を趣味として学習している。英語を理解するようになって、私は英語にもたくさんの種類があることを知った。韓国語を理解するようになって、私は日本も韓国も、中国に言語のルーツを持つことを知った。私は、異なる言語を話し異なる歴史と文化を持つ人々を理解しようとする過程には、言語学習が必須だと思う。相手が毎日使っている言語を知り、その言語と自分の言語の違いを知る。相手の言葉遣いから価値観を感じる。必ずしも違いを全て受け入れなくても、相手を理解し認めようとする努力と心の余裕があれば、意見の相違が生じたときに、もっと寛容に相手の意見を聞こうとするのではないか。話し合いにより問題を解決する糸口になるのではないだろうか。

高校生になり、海外に留学する友達がいる。友達は、英語のジョークには笑えないけれど、いろいろな人がいて楽しいと言っていた。多様性が重要視される近年の社会で、私の友達の言っていることは、まさにこの社会のいいところが表れていると思った。しかしなぜ、その社会は平和ではないのだろうか。なぜ、「いろいろな人がいて楽しい」では終わらず、「いろいろな人」から自分に似た人以外を排除しようとする人がいるのか。なぜ自分の欲のままに、他人の存在を無視する人がいるのか。自分の大切な人を守るため、自分の生活を守るため、言い訳はいくらでも考えられるが、それらの言い訳は尊い命を奪う理由には決してならない。

私たちは私たち人類の得意なことを忘れてはいけない。こんなにも文明や科学技術が進歩し、コミュニケーションツールをたくさん持っているのは、人間だけだろう。自分の気持ちを細やかに言語化し、望むなら一瞬で世界中に発信できるのも、人間だけだ。私が思う「地

球人」として、大切にすること。それは、80億分の一の自分が、地球人として生きる権利を持っているということ、それは同時に、他の地球人と一緒に生きていくという、責任でもあることを理解すること。そして自分のアイデンティティーの尊さを知り、相手の言語、習慣、文化、価値観を理解して自ら歩み寄る努力をすること。これらを踏まえて今私が具体的に実践していることは、言語学習を通して異なる文化を知り、友人たちや家族にその魅力を伝えること。そして日本の歴史や世界の歴史を学び、過去に起きたことを理解してその良かった点と反省すべき点を考えて周りの人と意見交換すること。

空を見上げよう。私と違う言語を話し、違う環境で生きるあの子ども、この空を見ている。私たちは同じ空の下に生きる、地球人である。